

新年会に参加したWUBペルー支部の会員(左から5人目が高原ルイス会長)
＝ミラフローレス区の中華料理店「フージョウ」



不況乗り越え、躍進の年に

WUBペルー支部(高原ルイス会長)は1月23日、ミラフローレス区で新年懇親会を開いた。アメリカを震源地とした金融危機から世界同時不況に陥った現状を乗り越えていこうとの新たな呼び掛けに、30人近い会員が集まった。

WUB支部が新年懇親会

30人集い結束誓う



会は、喜屋武エレナ事務局長の開会あいさつで幕開け。

冒頭、あいさつに立った高原会長は、昨年から牧志泰三新会長の下、新たにWUBネットワークとしてスタートした。九月にはロサンゼルスで第十三回WUB世界大会が開かれる予定だが、世界の経済情勢がまったく予断を許さない今、前向きに対処して乗り切り、ロサンゼルス大会に参加しようと呼び掛けた。

さらに「ハワイ大学東西文化センターへのWUB留学生をペルー支部から送ろう」と提案し、会員の協力を求めた。

セレモニーの最後は玉城正一フアル観光代表の首頭で「サル」と高らかに乾杯。新たな二〇〇九年度にかける意気込みと夢を託して杯を傾けた。

今年の新年懇親会にはスペイン語習得のためペルーに滞在している前WUBマウイ支部会長の上原クラレンス氏も参加。覚えてたスペイン語で和気あいあいと支部会員と交流した。

また、一三年にはリマ市で第三回WUB世界会議が開かれることになっており、成功に向け、一層の躍進と結束を誓い合った。

(赤嶺光弘通信員)